

実験の実務：実験結果の解析と解釈 ～結果をどう読み、どう結論するか～

日時	案内メール、HP をご覧ください。	会場：WEB 配信方式
受講料	税抜き 49800 円（税込み 54780 円）、テキスト付 & 主催講座特典	
講師	ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士（工学） 奥村 治樹	
受講対象	<ul style="list-style-type: none"> ・研究開発の実務担当者（若手、中堅） ・指導するリーダー、管理者 ・新入社員、若手 	得られる知識、スキル <ul style="list-style-type: none"> ・実験結果の解析と解釈 ・結論化 ・誤認、間違いの排除
概要	<p>研究開発において必要不可欠な実験は、実施して終わりではありません。そこから得られる実験結果から結論を導かなければなりません。そこで、必須となるのが実験結果の解析と、実験結果の解釈です。</p> <p>実験結果の解析では、生データからは分からない様々な情報を引き出す、掘り起こすことになります。ここには、シンプルにピーク位置等を読み取るというようなことから、ピーク分離、統計処理、多変量解析などの複雑な処理が含まれます。ここで重要なことは、単なる作業として行うのではなく、それぞれの方法や手順の原理や限界、注意点を理解していることです。</p> <p>実験結果の解釈し結論に至るプロセスでは、解析によって得られた情報の意味を読み取ることが求められます。その際には、単なる数学的な解釈ではなく、物理的、科学的意味を解析結果と結び付けなければなりません。その中では、当然ながら客観的な論理思考が必要であり、考えた解釈や結論のチェック検証も必須です。</p> <p>本セミナーでは、実験結果の解析、実験結果の解釈、結論導出における、考え方、進め方、必要となるツール、注意点などについて実例を交えながら詳細に解説します。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ● 【イントロダクション】 結果の解析から解釈、結論化までの全体ぞ、および、基本的事項の定義などをイントロダクションとして解説します。 ● 【解析の前に】 解析フェーズに入る前に、チェック、確認すべきことについて、誤差や再現性の考え方などを含めて解説します。 ● 【解析】 様々な実験結果、データについて、どのように解析するのか、解析のツールやテクニックと共に注意点やポイントを解説します。 ● 【スペクトルを例とした解析】 代表的な実験結果であるスペクトルを例として、具体的な解析方法、手順について一般的なものから大変量解析まで、その利用における注意点等を解説します。 ● 【解釈】 解析の終わった実験結果をどのように解釈して結論としていくかについて、実験結果の基本であり、必須のものである相関、因果の考え方を中心に解説します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【解析・解釈における論理思考】 解析はもちろん、特に解釈において必須ものとなる論理思考について、実験結果の取り扱いという観点で解説します。 ● 【解析・解釈と認知バイアス】 実験結果の解析、解釈を惑わし、間違いを生む認知バイアスについて、様々な中で実験結果の取り扱いにおいて特に注意すべきものを解説します。 ● 【演習】 ここまでの解説を踏まえて、実際のデータを例をとって、どのように解析して解釈するかを実践演習として実施します。 <p>【まとめ】と質疑 詳細は、HP をご覧ください</p>	
お申し込み	https://analysis.ikaduchi.com/tsushin-form.html または HP お問い合わせより	

URL : <http://analysis.ikaduchi.com>
e-mail : haru777@star.email.ne.jp